

刈谷市まち・ひと・しごと  
創生総合戦略推進状況  
(平成30年度)

刈 谷 市  
令和元年12月

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>戦略の推進</b> .....	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>具体的な取組</b> .....	<b>3</b>
	【基本目標1】 結婚・子ども育成支援.....	3
	【基本目標2】 しごと・雇用創出支援.....	6
	【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援.....	10
	【基本目標4】 住環境整備.....	13
	【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進.....	17

# 1 はじめに

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少・超高齢化という課題に向けての本市の考え方などを定めています。

本戦略が掲げる目指す姿・目標の実現のために、適切な進行管理を行う必要があることから、このたび平成 30 年度の推進状況をまとめました。今後も住みよい環境の確保など、自立的で持続可能な社会の実現を目指し、国と地方が一体となって推進していきます。

## 【総合戦略の構成イメージ】

### 《総合戦略の基本方針》

「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指す

《人口規模の目標》2060年：人口 約 16 万人

#### 【課題 1】

- ◆ 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現する

更なる出生率の向上（合計特殊出生率の向上）

#### 【課題 2】

- ◆ 居住地として選ばれるよう暮らしやすいまち・子育てしやすいまちとしての魅力を高める

子育て世代の転出抑制

（ターゲットを絞った移動率の改善）

#### 《基本目標 1》

##### 結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

#### 《基本目標 2》

##### しごと・雇用創出支援

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

#### 《基本目標 3》

##### 活動・交流・にぎわい支援

～安心・快適に住み続けられ、多くの人が訪れるまち(地域)をつくる～

#### 《基本目標 4》

##### 住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

#### 《共通事項》

##### 刈谷の魅力発信の推進

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

#### 《地域連携の視点》

##### 地域連携による取組

～官民連携や市町村間連携による持続可能な地域をつくる～

### 人が集まる

出産・子育てしやすい環境の整備・向上、移動率の改善を目指し、基本目標に掲げる取組を実現することで、自立的で持続的な社会を創生する

住む

育む

働く

学ぶ

遊ぶ

## 2 戦略の推進

### ① 重点事業の実施

本戦略の基本方針である「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」「2060年に人口約16万人」を目指して、『結婚・子ども育成支援』『しごと・雇用創出支援』『活動・交流・にぎわい支援』『住環境整備』の4つの目標を設定し、それぞれの目標を達成するため、「出生率の向上」と「社会移動の改善」が期待でき、取組効果が高い具体的な事業を選別し、重点的に推進します。

### ② 効果検証

本戦略は、各取組ごとに位置付けられている重点事業について、毎年推進状況を把握し、進行管理を行います。

#### 【資料の見方】

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷の魅力発信事業 (※地方創生交付金事業)	無料Wi-Fiを増設したことにより、公共施設利用者の利便性が向上することに加え、Wi-Fiログイン後に刈谷市観光協会ホームページへと遷移する仕組みを整備し、本市の魅力を効果的に情報発信することができた。  【刈谷の魅力発信事業】	企画政策課 広報広聴課 文化観光課
地方創生関連の交付金を活用した事業に記載		推進に予算を伴う場合は平成30年度の予算事業名を記載

また、下記表のとおり戦略全体の目標に加え、具体的な施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに、成果に係る目標を数値で示した重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

この指標を基に、PDCAサイクルで施策・事業の効果検証、改善などを図り、計画的に推進していきます。

重要業績評価指標（KPI）	策定時 (H26)	現状値 (H30)	目標値 (R1)
住みやすさを実感している市民の割合	82.4%	82.2%	85% (R2)
住み続けたいと思っている市民の割合	88.7%	86.5%	90% (R2)
誇りや愛着を感じている市民の割合	75.8%	72.6%	80% (R2)
合計特殊出生率	1.77	1.67	1.82
0～9歳人口	14,990人	14,867人	16,000人

### 3 具体的な取組

#### 【基本目標1】 結婚・子ども育成支援

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

重要業績評価指標 (KPI)	策定時 (H26)	現状値 (H30)	目標値 (R1)
出生数	1,747 人	1,635 人	1,800 人
子どもを生き育てやすいと思う市民の割合	78.1%	78.6%	80% (R2)
待機児童数	8 人	8 人	0 人

#### 方向性1 若い世代の結婚・出産の意欲を高め、希望を実現する

##### 取組① 結婚に対する関心・意欲向上に向けた啓発と交流機会の提供

重点事業	推進状況	担当課室名
家族・子育て家庭の情報発信	<p>市民だよりで毎月「赤ちゃん登場」コーナーを掲載するなど、家庭を持つ楽しさや喜びを共感できるような情報発信を行った。【市民だより作成事業】</p> <p>婚姻届を提出された夫婦に、記念写真と記念品を贈呈し、おふたりを祝福するとともに、本市の魅力づくりに努めた。【結婚お祝い事業】</p> <p>スマートフォン専用アプリと連動したウェブサイト「かりやSmileねっと」を活用し、効果的に情報発信することで、「子育てしやすいまち」をPRした。【かりや子育てアプリ管理事業】</p>	<p>広報広聴課</p> <p>市民課</p> <p>子育て推進課</p>
若い世代の交流の場づくり	<p>婦人会の行う婚活イベントの実施を支援し、結婚を希望する男女に出会いの場を提供することができた。【結婚活動応援事業】</p> <p>若い世代のニーズにあった講座を企画し、受講後もお互いが仲間となって活動できる場を提供した。【青年講座開催事業】</p>	<p>市民協働課</p> <p>生涯学習課</p>
ライフプラン関係講座の実施	<p>子育て世代対象の講座を実施し、子育てや自分を見つめなおす機会や受講後も活動できる場を提供した。参加人数 子育てカレッジ70人、イクメンカレッジ25人</p> <p>【男女共同参画啓発事業】</p> <p>市内全中学校の3年生が、実際に幼稚園等に出かけ、幼児と遊ぶ体験をし、次世代の親として成長していく過程で理解・体験すべき内容を知ることができた。【保育体験実施事業】</p>	<p>市民協働課</p> <p>学校教育課</p>

## 取組② 結婚・出産しやすい環境づくり

重点事業	推進状況	担当課室名
訪問体制の充実（あかちゃん訪問、育児ママ訪問等）	あかちゃん訪問では、助産師等の訪問指導により、母親の育児不安の軽減を図ることができた。訪問利用率90.2%【育児健康支援事業】 育児ママ訪問サポートでは、育児に対し不安を感じている母親のところへ訪問し、傾聴することで育児に対する不安を和らげるとともに、子育て支援センター等支援施設の情報提供をし、地域へつなげた。延べ訪問回数 335回【育児ママ訪問サポート事業】	子育て支援課
妊娠・出産・子育て包括支援事業	保健センターに開設した『妊娠・子育て応援室』において、妊娠期から子育て期にわたるさまざまな相談に対応するとともに、支援計画を立案し、関係部署と連携して虐待予防の視点から、切れ目のない継続的な支援を行った。延べ来所者数 515 人【妊娠・出産・子育て包括支援事業】	子育て支援課

## 方向性2 子育てニーズにあった切れ目のない支援・教育環境を実現する

### 取組① 子育て支援・教育情報の発信・PR

重点事業	推進状況	担当課室名
“子育て応援 City・刈谷” PR 事業	子育てに関する行政サービスや施設等の情報を収集・整理した子育てガイドブックの発行や、スマートフォン専用アプリと連動したウェブサイト「かりや Smile ねっ」とを活用し、充実した子育ての取組を効果的に情報発信した。また、子育てガイドブックをカラーで作成し、利便性を向上させた。	子育て推進課

### 取組② 子育て支援施策の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
子育てコンシェルジュ事業	子育てコンシェルジュが多様な子育て情報を収集し、利用者が自分に合った子育て支援の施設やサービスを選択し利用できるようサポートした。子育て世帯に身近な場所に子育てコンシェルジュを配置し、相談しやすい体制を整えた。配置施設数 44 か所 相談件数 958 件【子育てコンシェルジュ事業】	子育て支援課
ファミリー・サポート・センター制度	育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を組織化し、地域における育児の相互援助活動を推進した。会員数 3,688 人 活動件数 7,666 件【ファミリーサポートセンター運営事業】	子育て支援課

### 取組③ 教育の充実

重点事業	推進状況	担当課室名
小中学校の学習環境整備（空調設備設置事業）	市内小学校の普通教室及び空調設備のない一部の特別教室において空調設備の設置工事を行った。【空調設備整備事業】	教育総務課
園舎・校舎の改修・改築	老朽化した園舎・校舎を計画的に改修し、保育環境・教育環境の改善、安全性の向上を図ることができた。【双葉小学校大規模改造事業 等】	子ども課 教育総務課
放課後子ども教室の推進（全小学校への開設）	小垣江東小学校で開設し、市内小学校全 15 校に開設することができた。【放課後子ども教室推進事業】	生涯学習課

### 方向性 3 出産や子育てと仕事を両立できる社会を実現する

#### 取組① 出産や子育てに対する理解の促進

重点事業	推進状況	担当課室名
市内に拠点のあるファミリーフレンドリー企業の紹介	「ファミリーフレンドリー企業」（男女ともに仕事と家庭の両立ができる様々な制度と職場環境をもつ企業）についてホームページにより PR を行うなど、ワーク・ライフ・バランス推進に寄与した。	商工業振興課
男女共同参画啓発事業、男女共同参画プラン推進事業	広報紙やホームページ、Twitter を活用した啓発、イベントや講座等を開催し、市民の男女共同参画意識の向上に努めた。【男女共同参画啓発事業】 公募委員を含む男女共同参画推進懇話会及び庁内の関係部署で構成する推進部会を行い、施策の推進状況に対する意見収集を行った。【男女共同参画プラン推進事業】	市民協働課

#### 取組② 出産や子育てと仕事を両立できる環境の整備

重点事業	推進状況	担当課室名
保育園の新設誘致・定員拡大	刈谷大和保育園と依佐美清涼保育園が新設され、225 名の定員拡大を図ることができた。【民間保育所運営支援事業】	子ども課
児童クラブの開設時間延長	開設時間について、下校時から 19 時 00 分（従前は 18 時 30 分）まで、土曜日及び学校長期休業期間については、7 時 30 分から 19 時 00 分（従前は 8 時 00 分から 18 時 30 分）まで拡大した。（平成 29 年度以降実施中）	子育て推進課
幼稚園預かり保育の充実	就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の健診、学校行事やボランティアへの参加など、保育時間終了後、支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。【預かり保育実施事業】	子ども課

**【基本目標2】 しごと・雇用創出支援**

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	現状値 (H30)	目標値 (R1)
製造品出荷額等	17,389億円(H25)	16,006億円(H28)	17,700億円
市内の商店街でよく買い物をしている市民の割合	47.4%	45.9%	50% (R2)
刈谷市全産業従業員数 (事業所別)	102,374人 (H24)	114,834人 (H28)	110,000人

**方向性1** バランスの取れた工業振興を実現する

**取組① 産業エリアの形成**

重点事業	推進状況	担当課室名
産業立地促進補助事業	愛知県の補助制度の利用についても企業と連携しながら対応し、企業の市外流出防止とともに地域経済の振興を図ることができた。【産業立地促進補助事業】	商工業振興課
工業用地の創出に向けた調査事業	先行開発区域の開発について、全ての用地を取得するとともに、工業用地造成に必要な手続き等を行った。【企業立地推進事業】 依佐美地区の先行開発区域の開発に向け関係機関と協議しながら依佐美工業団地地区計画を策定することができた。【拡大市街地調査推進事業】	企業立地推進室 まちづくり推進課

**取組② 技術開発・情報の交流支援**

重点事業	推進状況	担当課室名
中小企業活性化事業	中小企業コンシェルジュによる企業訪問により、市内中小企業と情報交換を行い、中小企業のニーズや経営課題を把握することができた。【中小企業活性化事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
新産業技術開発支援補助事業	企業の新たな技術開発を支援するとともに、公的試験機関の利用促進の一助となった。【新産業技術開発支援補助事業】	商工業振興課
見本市等出展支援事業	補助金を交付することで企業の出展意欲を喚起し、市内の優れたものづくりの技術力を発信して企業の販路拡大や新たなビジネスパートナーの発掘を支援できた。【見本市等出展支援事業】	商工業振興課



### 取組③ 中小企業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
中小企業活性化事業【再掲】	研修により、業務で必要となる技術、技能又は知識の習得を支援するとともに、研修を通じて受講者が交流する機会を創出し、異業種間での情報交換を促すことができた。【中小企業人材育成支援事業】	商工業振興課
中小企業新開発マネジメント事業【再掲】	相談と指導、ビジネススクールと講演会の開催事業を中心に、中小企業の活性化に貢献した。【中小企業新開発マネジメント事業】	商工業振興課
信用保証料補助事業	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	事業者が支払う利子の一部を補助することで、小規模事業者経営改善資金融資制度の利用促進を図り、資金繰りの一助とすることができた。【小規模事業者経営改善資金利子補給事業】	商工業振興課

### 方向性2 生活拠点におけるにぎわいのある商業環境を整える

#### 取組① 商業施設等の誘致

重点事業	推進状況	担当課室名
商業施設の誘致に関する検討	民間再開発によって建設される複合施設を生活の利便性の高い拠点とするため、低層階に商業店舗を誘致することを促した。【銀座 AB 地区整備事業】	商工業振興課 市街地整備課

#### 取組② 魅力ある店舗づくり・消費喚起

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗（空き店舗）の活用に関する検討	商店街組合などの商業団体に対して空き店舗活用に関する補助を実施するなど支援に取り組んだ。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課
中小企業活性化事業【再掲】	研修により、業務で必要となる技術、技能又は知識の習得を支援するとともに、研修を通じて受講者が交流する機会を創出し、異業種間での情報交換を促すことができた。【中小企業人材育成支援事業】	商工業振興課
商業団体事業費補助事業	顧客へのサービス及び地域住民のコミュニケーションを盛んにし、販売促進と商店街の活性化が図られた。【商業団体事業費補助事業】	商工業振興課

重点事業	推進状況	担当課室名
商業者活性化事業 (平成 30 年度より 「がんばる商業者応援事業」に移行)	商業まつりレシートラリーでは、参加店舗の中から複数の店舗のレシートを集める形式で行い。抽選で当たる景品が用意されたため、消費者の買い回りを促し、消費喚起に繋がった。【がんばる商業者応援事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資促進補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

### 方向性 3 持続可能な農業を目指す

#### 取組① 生産基盤の強化

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷北部地区土地改良事業	今川今岡工区において、今川第 2 地区は用・排水路、区画整理の工事、今川第 1 地区は測量設計業務、今川今岡地区は設計業務を行った。西境工区では地権者に対して事業同意徴収を行った。【県営経営体育成基盤整備事業(刈谷北部地区)】	農政課
農業用施設等補修事業	排水路及び農業用ため池(洲原池)に堆積している汚泥や土砂の浚渫や破損している箇所を補修により、排水能力と衛生面を改善し、水路機能の保持及び水質の改善を図った。【農業用施設等補修事業】	農政課 雨水対策課

#### 取組② 担い手の育成

重点事業	推進状況	担当課室名
新規就農総合支援事業	45 歳未満の新規就農者 3 名(継続 3 名)に対して経営安定支援を行うことができた。また、刈谷生きがい楽農センター第 10 期野菜作り研修(研修期間 1 年間)の修了生を 19 名輩出した。【農業人材力強化総合支援事業、刈谷生きがい楽農センター運営事業】	農政課

#### 取組③ 刈谷農産物のブランド化などの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷農産物のブランド化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、農産物のブランド化を推進している。【農畜産物特産化補助事業】	農政課
6 次産業化の推進	刈谷市農畜産物生産消費推進協議会への事業委託及び補助を通して、6 次産業化を推進している。【農畜産物特産化補助事業】	農政課

**方向性 4** 新産業育成のための起業・創業を支援する

**取組①** 起業・創業支援

重点事業	推進状況	担当課室名
オープンデータ等の利活用に関する検討	あいち電子自治体推進協議会のオープンデータに関するガイドラインの改定に伴い、公開データを追加し、公開項目を拡充した。	広報広聴課 情報システム課
信用保証料補助事業【再掲】	融資に係る信用保証料を補助することで、中小企業の円滑な資金繰りを支援し、経営の安定化の一助となった。 【信用保証料補助事業】	商工業振興課
小規模企業者設備投資補助事業【再掲】	小規模企業者の事業継続及び拡大に伴う設備投資に係る経費負担を軽減することができた。【小規模企業者設備投資促進補助事業】	商工業振興課

**方向性 5** 女性・シニア・若年層の就労を支援する

**取組①** 世代・性別に応じた就業支援（市内企業の雇用支援）

重点事業	推進状況	担当課室名
高校生コマ大戦等開催事業	全国高校生コマ大戦の開催及び愛知県工業高校ロボット競技大会の共催により、全国や県内から集まった次代のものづくりを担う高校生に対して「ものづくりのまち刈谷」をPRすることができた。【高校生コマ大戦等開催事業】	商工業振興課
中小企業活性化事業【再掲】	研修により、業務で必要となる技術、技能又は知識の習得を支援するとともに、研修を通じて受講者が交流する機会を創出し、異業種間での情報交換を促すことができた。【中小企業人材育成支援事業】	商工業振興課
就業支援事業	セミナー参加者からは、役に立った、悩みが解消した、有意義であった等の多くの声が寄せられ、成果を数値では表せないが、就業支援に繋がった。【就業支援事業】	商工業振興課
労働者福祉助成事業	各団体の積極的な取組により、労働者等の育成・支援が図られ、工業の振興に繋がった。【労働者福祉助成事業】	商工業振興課

**【基本目標3】 活動・交流・にぎわい支援**

～安心・快適に住み続けられ、多くの人を訪れるまち（地域）をつくる～

重要業績評価指標（KPI）	現状値 （H26）	現状値 （H30）	目標値 （R1）
観光施設の利用者数	1,046万人	1,099万人	1,100万人
刈谷駅周辺が活気や魅力があると思う市民の割合	55.5%	60.6%	65%（R2）
各種施設が整い、文化やスポーツ、生涯学習などに取組みやすいと思う市民の割合	75.4%	77.0%	77%（R2）

**方向性1** 市内外から多くの人を訪れるまちを目指す

**取組① 魅力ある歴史・文化資源の発掘**

重点事業	推進状況	担当課室名
亀城公園再整備事業、歴史博物館建設事業	刈谷城復元に向けた課題の整理を行うとともに、関係機関との協議を行った。わんさか祭り、歴史博物館オープニングイベントにて事業の啓発を行い、刈谷城の歴史的価値や復元の意義について広めることができた。【亀城公園再整備事業】 歴史博物館の建設工事（建築・電気管）及び展示・収蔵庫設置業務（展示室壁付ケースや収蔵庫什器の設置）が完了し、開館することができた。【歴史博物館建設事業】	公園緑地課 文化観光課

**取組② 市内外の交流を深めるPR・イベントの実施**

重点事業	推進状況	担当課室名
観光推進体制の強化事業、観光協会補助事業、観光団体補助事業	刈谷市産業振興センターに設置した観光案内所で、市内及び定住自立圏域の観光案内、みやげ品の販売、レンタサイクル及び超小型EVの貸し出しサービス等を提供した。【観光施設等管理事業】 観光協会と連携して開催した産業観光ツアーにて地元の企業を訪問し、ものづくりの現場を見学するなど産業観光を推進した。【観光協会補助事業】 古くからの伝統行事である万燈祭などの祭りを支援することにより、刈谷市の魅力を高めることができた。【歴史文化観光行事等開催補助事業】	文化観光課

**方向性2** 中心市街地や商店街の活性化・にぎわいの創出を実現する

**取組① 刈谷駅・刈谷市駅周辺のにぎわい創出**

重点事業	推進状況	担当課室名
刈谷駅北口における市民活動スペースの設置事業	市民が集える広場などを含めた施設を整備するため、民間事業者と市有地を一定期間貸し付ける契約を締結し、工事に着手した。【刈谷駅北地区整備事業】	市街地整備課

## 取組② 商店街の活性化

重点事業	推進状況	担当課室名
魅力ある店舗（空き店舗）の活用に関する検討【再掲】	商店街組合などの商業団体に対して空き店舗活用に関する補助を実施するなど支援に取組んだ。【商業団体系業費補助事業】	商工業振興課 まちづくり推進課

## 方向性③ スポーツを通して活動・交流ができるまちを目指す

### 取組① 競技スポーツを活かしたスポーツ振興の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
国際大会等の誘致	国際スポーツ大会等誘致推進委員会の開催、関係競技団体等への訪問における調査やPR等の実施により誘致に向けた情報提供・共有を図った。 東京オリンピック関係では、出場国の事前キャンプ招致を目的にカナダバスケットボール協会関係者に対しプレゼンテーションを実施、その他各種イベントを通して大会機運醸成に努めた。また、フットサルFリーグプレシーズンマッチをウィングアリーナ刈谷で開催し、国際大会等の誘致に向けた取組みを推進した。【国際スポーツ大会等招致事業】	スポーツ課
ホームタウンパートナー事業の推進	国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによる子どもたちへの技術指導を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民一スポーツの推進に努めた。【ホームタウンパートナー事業】	スポーツ課

### 取組② だれもが参加できる市民スポーツの推進

重点事業	推進状況	担当課室名
スポーツを体験する場づくりの推進	市民が気軽に参加できる競技大会やイベントの開催、幼児や小学生、60歳以上の者など世代別の多様なスポーツ教室などにより、スポーツ活動への参加機会を提供・拡大できた。	スポーツ課
スポーツ教室の充実	総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ推進委員の活動支援により、地域におけるスポーツ活動の場づくりや、地域交流の促進を行うことができた。 【各種大会開催事業、ニュースポーツ普及事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業 等】	

**方向性 4** 多様な世代が活躍でき、安心・快適な暮らしを支える地域コミュニティを実現する

**取組① 学生と連携したきっかけづくり**

重点事業	推進状況	担当課室名
学生と連携したイベントの開催	愛知教育大学の学生サークルと連携し、夢と学びの科学体験館において、春休みと夏休みに特別講座「愛教大訪問科学実験」の企画運営を共同実施した。 愛知県工業高校生ロボット競技大会を共催することで、高校生の活動及び取組みや成果を発表する機会を提供した。【高校生コマ大戦等開催事業】	子育て推進課 商工業振興課 まちづくり推進課
学生によるチャレンジショップの実施	チャレンジショップを展開しやすいよう、商店街組合などの商業団体を通じて空き店舗活用に関する補助を実施した。【商業団体事業費補助事業】 スペース Aqua における各種イベント事業やアート作品の展示などの運営協力を行った。【中心市街地活性化推進団体支援事業】	

**取組② 市民活動・ボランティア活動の推進**

重点事業	推進状況	担当課室名
市民ボランティア活動センターの充実	刈谷市民ボランティア活動センターにおいて、個人や団体のボランティア活動の立上げ、運営に関する相談、個人や団体同士を結びつけるマッチング業務を通して、ボランティア活動を支援した。刈谷市民ボランティア活動センター登録団体数 526 団体、相談件数 1,159 件、マッチング件数 117 件【市民ボランティア活動支援事業】	市民協働課
市民活動支援基金補助金による市民活動の支援	市民団体等が行う活動に対し、まちづくり活動、まちづくりびと支援事業補助金を交付した。申請件数 9 件、補助額 725 千円【市民協働推進事業】	市民協働課

**取組③ 地域コミュニティの充実**

重点事業	推進状況	担当課室名
「わがまちのしゃべり場」開催	市民主体のメンバーによる企画・運営を行う「わがまちのしゃべり場」を開催し、参加者が万燈祭やカーリアンナイトなど刈谷のまちを楽しくしてくれる活動をしている人の話を聞き、意見交換する機会を提供した。参加者数：40 人【市民協働推進事業】	市民協働課
元気な地域応援交付金	平成 29 年度に事業採択された 5 地区に対して、交付金を交付した。また、令和元年度の事業申請に向けた住民会議が行われたことにより、地域の絆づくりのきっかけとなった。補助額 2,500 千円【地域活動活性化事業】	市民協働課
病診連携推進事業 (※地方創生推進交付金事業)	診療所と病院の役割分担と連携、上手なお医者さんのかかり方などに関する住民等への啓発を行った。	健康推進課



## 【基本目標4】 住環境整備

～安心・安全な定住環境を整備する～

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	現状値 (H30)	目標値 (R1)
快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合	79.8%	81.1%	80% (R2)
災害に強いまちと思う市民の割合	55.9%	56.5%	70% (R2)
犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合	61.1%	61.5%	63% (R2)
車や自転車などで移動しやすいと思う市民の割合	65.4%	68.8%	66% (R2)

### 方向性1 住み続けたい、住んでみたいと思われる良好な住環境を確保する

#### 取組① 既成市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
空家等対策推進事業	空家等の発生抑制、適切な管理及び活用を促進するための基本的な方針を示す空家等対策計画を策定した。 【空家等対策推進事業】	まちづくり推進課
低未利用地の活用	立地適正化計画の公表に伴い、法に基づく届出制度を活用し、市中心部への居住や都市機能の誘導に努めた。 【土地利用計画検討事業】	まちづくり推進課 市街地整備課
中心市街地の活性化とまちなか居住の促進	土地の共同化による高度有効利用を推進することで、民間事業者が主体となった再開発事業により、まちなかの賑わいの創出や、中心市街地定住人口が近年増加しつつあるなど、一定の効果が得られている。【銀座 AB 地区整備事業、刈谷駅北地区整備事業】	

#### 取組② 新市街地における住まいづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
拡大市街地調査推進事業	小垣江町北部地区について基盤整備を想定した地元組織化に向けて、一部権利者と意見交換等を実施した。 【拡大市街地調査推進事業、市街地整備調査推進事業】	まちづくり推進課 市街地整備課

### 方向性2 安心・安全な都市基盤を整備する

#### 取組① 災害に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
防災備蓄品等の整備	災害に備えて備蓄倉庫内の非常食を計画的に更新し、資器材の管理等を行った。【災害対策管理事業】	危機管理課

重点事業	推進状況	担当課室名
地域防災力の強化	<p>自主防災会の活動を支援するため、防災資器材の整備や活動に対して、補助金を交付したほか、自主防災推進会議を開催し、地域防災の課題や先進地区の事例を学んだ。【地区防災対策事業】</p> <p>消防団詰所の保守管理を行い、消防団員が活動しやすい環境を整備した。【分団詰所管理事業】</p>	危機管理課
住宅などの耐震化の促進	<p>耐震等の補助制度において代理受領制度を創設し、少ない自己資金でも工事ができるようにすることで耐震化の促進を図った。【わが家の地震対策事業】</p>	建築課
橋りょう補強の推進	<p>地震発生後の橋りょうの機能を確保し、市民が安全に避難できるように橋りょうの耐震補強を推進した。【橋りょう補強事業】</p>	道路建設課
治水・雨水対策の推進	<p>浸水被害の解消を図るため、草野川の河道を拡幅する改修工事を推進した。【準用河川草野川改修事業】</p> <p>排水機場の機械設備等を改修することで、安定した排水能力を保持し浸水被害を防止した。【排水機場改修事業】</p>	雨水対策課

### 取組② 犯罪に強いまちづくり

重点事業	推進状況	担当課室名
街頭防犯カメラの設置	<p>警察、地区と協力して、主要交差点や公園、学校及び駅周辺等へ防犯カメラを設置した。(平成 30 年度末時点の設置台数 1,181 台) また、防犯カメラの設置地区であることを周知する看板やステッカーを街頭に設置することにより、防犯カメラの犯罪抑止効果を高めることができた。【街頭防犯カメラ設置事業】</p>	くらし安心課
防犯灯 LED 化の推進	<p>地区の要望等に基づき、必要な箇所へ LED の防犯灯を設置した。(平成 30 年度末時点の設置台数 8,335 基) 【防犯灯 LED 化事業】</p>	くらし安心課

### 取組③ 交通安全対策の推進

重点事業	推進状況	担当課室名
交通安全施設の点検を強化	<p>点検計画に基づき道路安全灯の劣化状況を点検・修繕し、安全な交通環境を維持することができた。【交通安全施設管理事業】</p>	くらし安心課
ゾーン 30 の推進	<p>警察、地区と協議の結果、新たに「日高・高倉地区」がゾーン 30 に指定され、ポールによる狭窄、路面塗装などの交通安全対策を行った。</p>	くらし安心課



**方向性3 “ひと”と“環境”にやさしく持続可能な総合交通体系を構築する**

**取組① 道路の整備**

重点事業	推進状況	担当課室名
電線類地中化の推進	電線類の地中化及び歩道のバリアフリー化工事を行い、緊急輸送道路等の機能確保及び安全で快適な歩行空間を整備することができた。【(都)3・4・551 刈谷環状線電線類地中化事業、(都)7・4・555 刈谷駅前線道路新設改良事業】	道路建設課
歩道の段差等解消に関する取組	横断歩道接続部等の部分改良によって歩行環境を改善した。【歩道整備事業】	道路建設課
幹線道路に関する調査・検討(スマートIC、西三河知多アクセス道路、南北縦貫道路)	(仮称)刈谷スマートICについては、道路整備に着手し、周辺道路のうち南北縦貫道路である市道01-4号線の整備を実施した。また、西三河知多アクセス道路については、地域高規格道路名古屋三河道路の推進協議会と一本化を図り、重要物流道路の指定及び計画の早期具現化とともに、知多地域と名豊道路を結ぶ区間を優先的に事業の進捗を図るよう要望活動を実施した。【市道01-4号線他道路新設改良事業、市道01-41号線他道路新設改良事業】	道路建設課 都市交通課

**取組② 公共交通ネットワークの充実**

重点事業	推進状況	担当課室名
交通課題把握のための調査等を実施	上位計画の改定に合わせ、都市交通戦略の見直し業務を進めており、社会的背景の変化と法制度改定の整理、具体的な交通施策の実施状況を確認すると共に、各施策実施のための課題の整理等を行った。【都市交通計画調査推進事業、公共施設連絡バス運行管理事業】	都市交通課
公共施設連絡バス等の調査・検討を実施 (※地方創生推進交付金事業)	公共施設連絡バスの利用状況の調査・検討結果を踏まえ、バス路線の再編を実施し、合わせて市民により親しみを持ってもらえるよう「かりまる」の愛称を定めた。(H31.4.1改正)平成28年度に公共施設連絡バス利用者等が快適にバスを利用できる、バスロケーションシステム(運行状況がリアルタイムに取得できる)を導入し、平成30年度は、2箇所のバス停(東刈谷駅北口、野田新町駅北口)にバスロケーションシステムの運行モニターを設置したことで、バスの利便性を向上させた。【公共施設連絡バス運行管理事業、公共施設連絡バス停留所整備事業】	都市交通課
移動手段の適正化に向けた調査・検討を実施	駅利用者の安全性と利便性の向上を目的としたJR刈谷駅ホーム拡幅等改修に関する設計及びバリアフリー基本構想改定に向けた調査を実施した。【都市交通計画調査推進事業】	都市交通課

**方向性 4** 公共施設の最適な配置を検討し、計画的な更新・長寿命化を図る

**取組①** 公共施設の総合的かつ計画的な管理及び維持保全を図る

重点事業	推進状況	担当課室名
公共施設維持保全計画の推進	施設所管課とのヒアリングや現地調査を行い、施設の劣化状況の把握に努め、施設の長寿命化に資する次年度の保全計画を作成した。また、施設の保守点検業務委託の契約の見直しを行い、経費の削減を図った。【公共施設維持保全計画推進事業】	施設保全課

**【共通事項】 刈谷の魅力発信の推進**

～刈谷の魅力を市内外に向けて効果的に広く発信する～

戦略的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Web サイトや SNS などのソーシャルメディア、新聞や情報誌などの産業メディアの効果的な活用</li> <li>○ 企業等とタイアップした積極的な取組の展開</li> <li>○ 刈谷らしさの創造、展開</li> <li>○ 既存の名産品、マスコットキャラクターの活用</li> </ul>
まちの魅力の再確認・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て・住みやすさなどの可視化、歴史文化の再確認</li> <li>○ 多様な学習機会、文化交流の場の提供</li> <li>○ 伝統行事の継承・発展、誇るべき地域資源の活用</li> <li>○ 企業城下町の強みを活かす取組の推進</li> </ul>
推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部等における魅力づくりのための職員の意識の向上</li> <li>○ 部署間の連携体制強化</li> </ul>

重点事業	推進状況	担当課室名
まちの魅力創出施策推進のための職員研修の実施	<p>高齢者人口がピークを迎える 2040 年頃を見据え、新たな自治体行政の方向性として総務省が報告した「自治体戦略 2040 構想」をテーマに衣浦定住自立圏共生ビジョン推進講演会を開催し、持続可能なまちづくりのために必要な職員等の資質向上を図った。【衣浦定住自立圏連携事業】</p>	企画政策課
刈谷の魅力発信事業	<p>無料 Wi-Fi を増設したことにより、公共施設利用者の利便性が向上することに加え、Wi-Fi ログイン後に刈谷市観光協会ホームページへと遷移する仕組みを整備し、本市の魅力を効果的に情報発信することができた。</p> <p>参加するイベントをより定住促進に効果的なものに限定することで効率化をはかることができた。</p> <p>奈良県東吉野村との交流事業や刈谷城盛上げ隊の活動を通じて、市内外に向けて本市の歴史文化を再認識する機会を設けることができた。【刈谷の魅力発信事業】</p>	企画政策課 広報広聴課 文化観光課

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進状況（平成30年度）

発行 愛知県刈谷市  
編集 企画財政部企画政策課  
〒448-8501  
愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地  
TEL 0566-23-1111（代表）  
FAX 0566-23-1105  
URL <http://www.city.kariya.lg.jp>